

## 祝 卒業

3月1日、令和6年度第74回卒業証書授与式が行われました。多くの来賓の方々、保護者の方々に囲まれ、厳粛な中にも温かい雰囲気にも包まれた式典となりました。

送辞 生徒代表 2年次 伊藤心結

～略～、部活動では、目標に向けて自分が今何をすべきかを自ら考え、努力する姿を見せてくださいました。委員会では荒砥高校をよりよい学校にするために一生懸命に取り組む先輩方の姿がいつもありました。そんな先輩方の姿をしっかりと私たちが受け継いでいきたいと思えます。～略～

答辞 生徒代表 卒業生 齋藤あみ

～略～、誰よりも多くの時間を共有してきた友達。この三年間で多くのことを一緒に乗り越え、みんなで切磋琢磨し合いながら生活していく中でお互いを理解し、思いやりながら、過ごした日々は忘れられないものとなりました。また、これまで学校に多くのご支援をしてくださった白鷹町の皆様、心より御礼申し上げます。そして、私たちを誰よりも近くで見守ってくれた家族にも改めてお礼を言われてください。今までありがとうございました。これからもどうか私たちの成長を見守っててください。私たち14名は明日からそれぞれが自分で決めた道を歩き一つ上のステージに行きます。その中でもこの荒砥高校で身に付けた力や思い出を胸にこれから大きく飛躍していきます。～略～



### 同窓会入会式

卒業証書授与式の前日、2月28日（金）には、表彰式、同窓会入会式が行われました。

同窓会入会式では、社会人として、地域発展に参画していく決意が述べられました。



新入会員代表挨拶 卒業生 井上知寿

～略～、私たちは自分で選んだ道を歩み始め、それと共に、この伝統ある荒砥高校同窓会に入会し、地域の方々と共に社会に貢献できる立場になれることを大変うれしく思います。荒砥高校で過ごしてきた三年間はとても楽しく、多くの経験や学びを得られた充実した学校生活だったと感じます。特に印象に残っているのは生徒会副会長として生徒会や執行部で活動したことです。私が生徒会副会長に立候補したのは、2年次からでしたので、それまで生徒会活動に直接関わったことはありませんでした。しかし、先輩たちが学校のために奮闘する姿を見て、自分にもできることがあるのではないかと考えるようになってきました。～略～、私たちは、行事の準備や運営等、自分たちの仕事をやりきる度に達成感を得られたとともに、役職を担うことの責任と充実感を感じることができました。～略～同窓会の先輩方と共に努力していきますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしく願いいたします。

